

市政レポート

平成25年6・9月定例会 一般質問

1. 学童保育の需給バランスと今後の支援拡大について

問1 こども会（地域児童健全育成事業）の充実に関し、開設場所の供給は十分にできているのか。

答 福祉保健部長 小学校の余裕教室や公立公民館などを開設場所として地域に提供しでいるところであり、適切な開設場所が確保できない校区においては小学校の敷地内にプレハブの専用室を新たに設ける、また、小学校の改築に併せて校舎の中に健全育成室を整備するなど、必要な対策をこれまでも講じてきたところである。

問2 こども会、放課後児童クラブ及び地域ミニ放課後児童クラブを1つに融合させるべきではないか。

答 福祉保健部長 留守家庭児童に対し、放課後の健全な遊びや生活の場を提供する施策として、①市が各校区の運営協議会への委託により行っている地域児童健全育成事業（こども会）、②社会福祉法人やNPO法人などが運営する放課後児童クラブ事業③町内会やボランティア団体などが、少人数の子どもたちを対象に実施している地域ミニ放課後児童クラブ事業の3事業を実施している。これらの事業は、活動の趣旨・目的は似ているものの、それぞれの事業の沿革や実施主体が異なっており、開設日数や開設時間、利用料の有無など運営内容にも大きな違いがあることから、1つに融合させることは困難であると考えている。

2. 人材育成・確保への支援について

問1 子どもたちに適正な職業観や勤労観を持たせるために、どのような教育を行っているか。また、もっと幅広く地元の中小企業に興味を持ってもらう必要があると考えるが、見解は。

答 教育長 小中学校では発達段階を踏まえたキャリア教育に取り組んでいる。小学校では地元の商店や企業からゲストティーチャーを招いて話を聞き、中学校では2年生が「社会に学ぶ14歳の挑戦」として、地元企業や事務所で仕事を体験している。市の事業である「先輩に学ぶ講演会」や経済同友会の「課外授業」では、各分野の専門家や企業経営者から、自らの体験談や働くことの意義を子どもたちに話してもらっている。今後も、地元の住民との関わりを通して子どもたちが働くことの意義を学ぶなど、望ましい勤労観や職業観を育てる教育活動の充実を図っていきたい。



12月定例会



市議会議員パークゴルフ

平成25年12月定例会 一般質問

1. 北陸新幹線開業に向けた観光施策について

問1 観光実践プランの基本方針のひとつである「戦略的なPR」について、取組状況を問う。

答 市長 来年3月に県が実施する「とやまweek in東京」への参画や、来年度に「北陸新幹線停車駅都市観光推進会議」構成10市が連携し、大宮駅での大規模な観光PRを実施する。
新幹線開業を絶好の機会と捉え、市の魅力を広くPRし、まちの活力に繋げることは大変重要なことである。常々、県に対し、「県がリーダーシップを発揮し、市町村や観光協会と一体的に、スケール感のある戦略的なPRを行う必要がある」と発言している。億単位の事業をちゃんとやっていくべきだと思うが、なかなか実現しない。今後とも県には働きかけていきたい。ユニークで戦略的な取組みを長期的に続けることで、都市の魅力を高め、滞在型観光の推進が図られると考えている。

問2 「官民一体となった受入態勢の整備」について問う。

答 商工労働部長 観光事業者や観光ボランティアガイド等を対象にした「観光サポーター研修」及び事業者や市民からなる「富山ファン創出おもてなし事業」を実施しており、新幹線開業に向け、人材育成を図るとともに、市民の機運醸成も促していると考えている。
去る11月に、北陸新幹線停車駅が設置される10都市の商工会議所や観光協会が一堂に会し、「北陸新幹線停車駅都市交流会」が開催され、新幹線開業に向け、今後は民間レベルの交流を推進し、沿線都市間の連携強化を図ることが確認されたところだ。

問3 身近な食材で名物を育てることや、イベントなど民間の力を活用できるように支援が必要と思うが、地元の商店街との連携について、取組状況を問う。

答 商工労働部長 飲食業界と連携し「富山やくぜん」「とやまイタリアン」の実施、ガラス作家の作品と富山の食をコラボレーションする「富山のガラスと食の味わい事業」を行っている。本年度からは富山らしく、美味しく、健康にもよい「薬都富山のめぐみ食やくスイーツ」を開発・販売。また、スマートフォンアプリや、商店街マップやランチマップ、賑わいを創出するイベントに対し支援を行っている。

2. 小中学校、保育所・公民館の耐震化計画

問1 本年10月1日時点で、耐震化に着手していない小中学校の学校名（学校数）と、その耐震化工事の予定について問う。また保育所や公民館の耐震化計画について問う。

答 教育長 耐震化に着手していない小学校は、倉垣、寒江を含む13校、中学校は、西部、和合を含む10校である。そのうち、総合計画後期基本計画（～平成28年度）では、小学校は、奥田、浜黒崎、倉垣、上滝の4小学校、中学校は、岩瀬、大泉、水橋、八尾、速星の5中学校を耐震化する予定である。総合計画後期基本計画以降の耐震化工事については、平成30年度末までに完了できるよう計画的に進める。
公立保育所については、休所中である2カ所を除く全43カ所のうち、耐震化の必要な保育所は6カ所である。総合計画後期基本計画（～平成28年度）に3カ所の改築を予定し、それ以外についても順次整備を進める。
市立公民館については、全85館のうち、倉垣、長岡を含む8館について耐震化が必要であり、総合計画後期基本計画（～平成28年度）に位置付けし、順次整備を進める。



藤ノ木小学校耐震化工事中